



株主通信

2024年度
【第46期】

● 第2四半期(中間期) [2024年4月1日~2024年9月30日]

株主の皆様へ

株主の皆様には平素より格別のご支援とご高配を賜り、誠にありがたく厚く御礼申し上げます。

ここに、当社グループ2024年度(2025年3月期)第2四半期(中間期)の「株主通信」をお届けし、当期の状況についてご説明申し上げます。

2024年12月

取締役社長
羽田 雅一



● 中間期の概要

当中間期におけるわが国経済は、一部に弱めの動きがみられたものの、企業収益は改善しており、業況感的良好な水準を維持するもとで、景気は緩やかに回復しています。

情報サービス産業におきましては、顧客のデジタル変革(DX)に対する投資意欲は底堅く、製造業の情報化投資は堅調に推移すると見込まれております。

このような経営環境において、当社グループは、2026年度を最終年度とする6カ年の経営計画「経営Vision 2026 改訂版」のもと、主要顧客である製造業のビジネス環境の変化に、当社グループの強みを活かした製品・サービスで支援すべく、製造業のDX推進やグローバル展開等の経営課題解決に取り組むとともに、

サステナビリティへの貢献にも取り組んでおります。

当中間期の業績につきましては、下記のとおり前年同期比増収・増益となり、受注高・売上高はともに過去最高を連続更新し、利益は7期連続で過去最高益を更新いたしました。良好な中間期の業績を踏まえまして、11月12日に通期業績予想の利益を上方修正しております。

2024年度(2025年3月期)の中間配当金につきましては、1株あたり42円とさせていただきます*。期末配当金は42円を予定しており、年間配当金は84円となる予定です。

株主の皆様におかれましては、当社事業へのご理解とともに将来性にご期待いただき、引き続き長期的な視点でのご支援を賜りたく、心よりお願い申し上げます。

*中間配当の支払開始日は12月3日です。

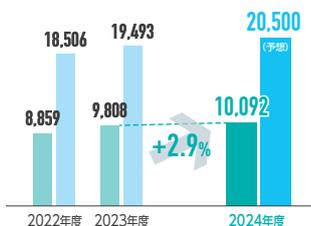
連結業績ハイライト

■ 中間期 ■ 通期 (単位：百万円)

決算のポイント

- 受注高・売上高は、堅調な情報化投資のもとでライセンス販売増加等により、前年同期に比し増加(受注高：前年同期比3.3%増)
- mcframeライセンス売上高は、ライセンス販売が好調に推移し、過去最高を連続更新
- 利益は、プロジェクト採算性向上・ライセンス販売伸長等により、前年同期に比し増加

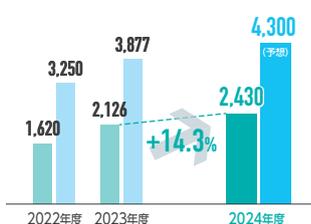
売上高



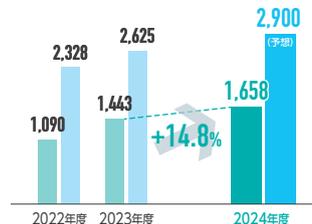
営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する中間(当期)純利益



AI機能を搭載した「mcframe X」新バージョンのご紹介



この度、当社のクラウド型生産管理システム「mcframe X」が、さらなる業務支援機能を強化し、幅広い業務ニーズに対応できるよう大幅にアップデートされました。この新バージョンでは、ノーコード開発環境が拡張・強化されたほか、稼働状況のリアルタイムモニタリングや、英語対応の拡充、原価管理機能の追加といった重要な機能が新たに盛り込まれています。

特にご注目いただきたいのは、生成AIによる業務支援ツール「ACE」の搭載です。ACEは、チャット画面に入力された質問に対してシステム内のデータを参照しながら業務担当者の疑問に答えるとともに、

次の操作を提案する機能等により、日常業務を効率化します。ACEは学習機能も備えており、使用を重ねるごとにユーザーの業務プロセスや運用ルールに適應するため、担当者ごとに最適なサポートを提供します。これにより、情報の取得がスムーズになり、迅速な意思決定や時間の節約が可能となるだけでなく、業務負担の軽減にも貢献します。

このような最新機能の導入により、「mcframe X」はさらに利便性が高まり、製造業のお客様の多様なビジネスニーズにお応えします。今後も当社は、最新技術を活用し、お客様のDX（デジタルトランスフォーメーション）推進を力強く支援してまいります。

「統合報告書 2024」を発行しました



当社は、本年初めて統合報告書を発行いたしました。本報告書には、財務情報に加え、環境、社会、ガバナンス（ESG）への取り組みについても詳細に記載しています。これにより、株主様をはじめとするステークホルダーの皆様へ、当社が持続的な成長を目指して取り組んでいる課題や、その対応状況について包括的にお伝えしています。

統合報告書では、当社の中長期的な成長戦略、環境への配慮、社会貢献活動、そして経営の透明性を高めるための施策を一つにまとめ、当社のビジョンや価値創造の方向性を明確に示しております。報告書の詳細は当社コーポレートサイトにてご覧いただけますので、ぜひご一読ください。

[統合報告書]

https://www.b-en-g.co.jp/jp/ir/materials/integrated_report.html



セグメント別事業概況

ソリューション事業

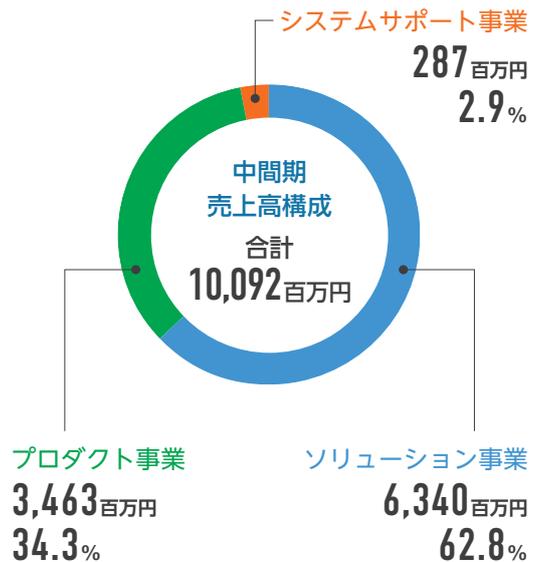
他社開発ERPパッケージ製品をベースとしたコンサルティング、システム構築等を主に行う事業です。顧客の課題解決に貢献する複合型ソリューションの提供を推進し、顧客ニーズを踏まえた積極的な提案活動に努めました。受注高および売上高につきましては、受注の進捗に遅れが見られたことから、受注高は6,453百万円（前年同期比1.9%減）、売上高は6,340百万円（前年同期比3.1%減）となりました。セグメント利益は、プロジェクトの採算性は向上したものの売上高減少により、1,645百万円（前年同期比1.9%減）となりました。

プロダクト事業

自社開発ERPパッケージ「mcfame」シリーズ製品をビジネスパートナーを通じて販売するとともに、同製品をベースとしたコンサルティング、システム構築等を行う事業です。引き続き、顧客・ビジネスパートナーとの関係強化を図りライセンス販売に注力するとともに、継続的なブランド力の強化に取り組んだことにより、ライセンス販売は好調に推移いたしました。当セグメントの受注高は3,443百万円（前年同期比13.5%増）、売上高は3,463百万円（前年同期比12.8%増）、セグメント利益は1,447百万円（前年同期比43.0%増）となりました。

システムサポート事業

顧客に導入したシステムの運用・保守を主に、これらを通じた提案・追加開発等を行う事業であり、子会社のビジネスシステムサービス株式会社が展開しています。引き続き、顧客システムのライフサイクルサポートの充実に努めました。当セグメントの受注高は244百万円（前年同期比17.2%増）、売上高は287百万円（前年同期比46.3%増）、セグメント利益は252百万円（前年同期比8.7%減）となりました。



mcfameライセンス売上高 (単位：百万円)



(単位：百万円)

財務のポイント

総資産は、現金及び預金の増加、受取手形、売掛金及び契約資産の増加、無形固定資産の増加、投資その他の資産の増加等により、前期末と比較して840百万円増加し、16,558百万円となりました。

負債は、前受金の増加、未払法人税等の減少、賞与引当金の減少、短期借入金の減少等により、前期末と比較して273百万円減少し、4,494百万円となりました。

純資産は12,064百万円となり、自己資本比率は72.9%となりました。

	2024年3月末	2024年9月末
流動資産	12,583	13,214
固定資産	3,135	3,344
資産合計	15,718	16,558
流動負債	4,752	4,468
固定負債	15	25
負債合計	4,767	4,494
純資産	10,950	12,064
負債純資産合計	15,718	16,558

会社概要

社名	ビジネスエンジニアリング株式会社
事業開始	1999年4月(設立 1980年12月)
資本金	697,600,000円
従業員数	連結721名 単体555名
業務内容	企業経営および情報通信システムのコンサルティング コンピュータネットワークの企画および開発 情報通信システムの企画、開発、販売およびリース
本社	東京都千代田区大手町1丁目8番1号 KDDI大手町ビル
関西支店	大阪府大阪市淀川区西中島6丁目1番1号 新大阪プライムタワー4階
中部営業所	愛知県名古屋市中村区名駅3丁目26番8号 KDX名古屋駅前ビル13階
グループ会社	ビジネスシステムサービス株式会社 Business Engineering America, Inc. 畢恩吉商務信息系统工程(上海)有限公司 Toyo Business Engineering (Thailand) Co., Ltd. PT. Toyo Business Engineering Indonesia Toyo Business Engineering Singapore Pte. Ltd.

役員

代表取締役 取締役社長	羽田 雅一
代表取締役 専務取締役	別納 成明
常務取締役	中野 敦士
常務取締役	佐藤 雄祐
取締役	入交 俊行
取締役	宮澤 由美子
社外取締役	清水 弘
社外取締役	北村 正仁
社外取締役 監査等委員	志水 直樹
社外取締役 監査等委員	三好 貴子
取締役 常勤監査等委員	大塚 博文

株主メモ

事業年度
毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会
毎年6月

基準日
定時株主総会・期末配当 3月31日
中間配当 9月30日
その他必要があるときは、あらかじめ
公告いたします。

株主名簿管理人
東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

同事務取扱場所
【郵便物送付先・電話照会先】
〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社
証券代行部
TEL.0120-782-031(フリーダイヤル)
取次事務は、三井住友信託銀行株
式会社の本店および全国各支店で
行っております。
単元株式数
100株
公告の方法
電子公告 <https://www.b-en-g.co.jp/>

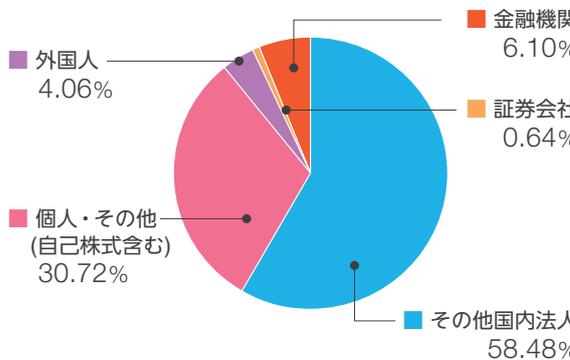
株式の状況

発行可能株式総数	48,000,000株
発行済株式の総数	12,000,000株
株主数	8,748名

大株主

	所有株式数(株)	所有比率(%)
株式会社図研	2,520,000	21.00
三谷産業株式会社	1,488,000	12.40
ウイングアーク1st株式会社	960,000	8.00
株式会社インテック	720,000	6.00
キャノンITソリューションズ株式会社	720,000	6.00
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	552,900	4.60
株式会社テクノスジャパン	180,000	1.50
B-EN-G社員持株会	172,300	1.43
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	153,900	1.28
株式会社アバントグループ	108,000	0.90
株式会社テラスカイ	108,000	0.90
キッセイコムテック株式会社	108,000	0.90

所有者別株式分布状況



決算説明資料・決算説明動画のご案内

2024年度第2四半期(中間期)決算状況のご説明資料
およびご説明動画をコーポレートサイトに掲載して
おります。是非ご覧ください。

▶ 決算説明資料・決算説明動画

[https://www.b-en-g.co.jp/jp/ir/materials/
briefing_materials.html](https://www.b-en-g.co.jp/jp/ir/materials/briefing_materials.html)



ビジネスエンジニアリング株式会社

本社：〒100-0004 東京都千代田区大手町1-8-1 KDDI 大手町ビル
TEL.03-3510-1600 / FAX.03-3510-1624